

デジタル化への 対応

石油化学業界の サプライチェーン保証

Leanne Halliday

コーポレートアカウントマネジャー | LRQA



あらゆる組織が競争上の優位性を維持しようとしている現状において、デジタル変革のメリットの影響を受けない企業や業界は存在しません。石油化学業界には現在、デジタル分野の成功がオペレーショナルエクセレンスへの次のステップを形作る、という強い認識があります。多くの組織は、デジタル化の機会のメリット実現に向けてすでに知識を構築し、変更を実施しています。**知識を高めることで、リスクが低減されます。**

より多くの石油化学企業が、人工知能やデータインテリジェンス、クラウドシステム、モノのインターネット (IoT) に支えられたデジタル主導のアプローチに移行する中、事業に不可欠な検査作業（特により広範なサプライチェーンに関連するもの）は、ペースを維持するだけでなく、運用上の価値を継続的に付加することがとても重要です。

よりスマートなデータ主導型アプローチの採用

ほとんどの業界と同様に、データ主導型のアプローチは、石油化学企業内で存在感を高めつつあります。

施設では、データを廃棄する代わりに利用して分析することが増えています。その結果、収益の向上、エネルギー消費量の削減方法、排出量に関する知識の向上、予防保全の強化などの改善の機会の特定につながっています。このような機会は、サステナビリティや企業の社会的責任などの領域において、収益向上やパフォーマンス改善などのメリットをもたらす、企業の収益向上に大きく貢献する可能性があります。

多くの組織は、リアルなデータこそが最も価値を生み出すと考えています。これは、生産工場や研究所での継続的なオペレーションに関連するデータという形で、予防保全などの重要な分野で改善を促進するために活用することができます。

たとえば、データを使用することで、コストのかかるシャットダウンが発生する前に、具体的な保全の問題を特定することが可能です。また、炭素排出量のリアルタイム測定において、データ主導の大幅な改善が実現しています。これにより運用担当者は、効率とサステナビリティの目標達成のための微調整を可能にする、重要な情報を得ることができます。

全体的に見て、このような高度な検証は、社内だけでなくサプライヤーにとっても、予測や計画の改善につながる可能性があります。その結果、生産の安定化、リードタイムの短縮、サプライチェーン全体にわたる他の当事者との関係改善が促されることとなります。

デジタル変革はサプライチェーンにも及ぶ

新しいテクノロジーやより効率的なプロセスが導入されたとき、サプライチェーンがそれに追従することが非常に重要です。関連するすべての機器が準備を整えており、新しいデジタル体制の目的に適合しているよう保証する必要があります。

デジタル製品は標準化が進んでいますが、その使用方法はさまざまであり、ここで問題が発生し始め、サプライチェーンの脆弱性が顕在化します。

この事実から、石油化学企業がいかんにしてサプライチェーンの整合性を確保できるかという重要な問題が浮かび上がります。

サプライチェーン保証

組織は、デジタル化がますます進むプロセスの導入によって生じる新しい品質とパフォーマンスの規格を、サプライチェーン全体が確実に維持するようする必要があります。さらに、組織がサプライチェーンの拡大を検討している場合は、特定の判断基準に照らして、見込みのあるベンダーを評価することが重要です。

一般的にサプライヤーは、新しい規格を維持しながら、進化するテクノロジーに先んじる必要があることを理解しています。

組織にとって重要なのは、ベンダーの評価や過去の経験から得た教訓に基づいて、物事は動いており、テクニックやテクノロジーが変化していることを認識することです。

たとえば、ますますデジタル化が進むアプローチのため、新しいベンダーは、新たな要求事項に対応する実現能力を備えた、特定の機器とプロセスを導入する必要に迫られることがあります。

組織は、サプライチェーン全体が新しい品質とパフォーマンスの規格を確実に維持するようする必要があります。

ベンダーの審査は、機器やプロセスの要求事項に関連する特定基準に照らしてベンダーを評価するための、より広範なサプライチェーン検査の取り組みの一部になる可能性があります。ベンダーが市場の変化を認識し、自社の施設をインライン化しようとする取り組みも、焦点となる傾向があります。これにより、組織は適切なサプライヤーを選択していることを確信できます。

ベンダーのサイト検査も重要であり、LRQAなどの組織が関わってサプライヤーのサイトを検査し、顧客が注文したものを確実に入手できるようにします。この取り組みを行う者が、現場でその組織の目と耳になります。これらの検査は、デジタルベースのアプローチに合わせてカスタマイズ・調整できるため、ダウンタイムや目標未達につながりかねない運用に対する特定のリスクを、最小限に抑えられます。

よりデジタルなアプローチを優先している石油化学企業にとって、洞察こそがすべてです。リモートで実施できるベンダー審査とサイト検査をデジタル化の取り組みと併用することで、選択からパフォーマンスまでサプライチェーン全体を俯瞰することができます。これにより、最適化された技術主導のデジタルアプローチが実現し、長期的な成長軌道の形成が促されます。

LRQAのサプライチェーン保証サービス

LRQAは石油化学会社に対して、設定された品質・パフォーマンス規格にサプライヤーが確実に対応できるよう、さまざまなサプライチェーン保証サービスを提供しています。

LRQAと連携することで、真にグローバルな事業展開を行っている経験豊富なパートナーを得ることができます。つまり、現地の市場や文化を理解している専門家と協力して、複数のセクターや場所におけるLRQAの経験から構築された、グローバルサプライチェーンに関する洞察を得られます。これは、他で学んだ教訓からリスクを特定するのに役立ちます。

サプライチェーン保証サービスの一環として、LRQAがお客様に代わってベンダーのサイト検査を実施し、サプライチェーンがお客様固有の要求事項を確実に満たしているようにすることができます。また、ベンダー監査を提供して、サプライヤーに関する重要情報を収集し、そのベンダーをサプライチェーンの一部に組み入れるかどうかの判断に役立てることができます。どちらのサービスも、お客様の事業とセクターに合わせてカスタマイズされており、オンサイトまたはリモートで提供できます。

サプライチェーンの保証および検査サービスのラインナップについて、詳細は [lrqa.com](https://www.lrqa.com) をご覧ください。

お問い合わせ

詳細については、
<https://www.lrqa.com/ja-jp/>
をご覧ください。

LRQA リミテッド
〒220-6010
横浜市西区みなとみらい2-3-1
クイーンズタワーA10階



YOUR FUTURE. OUR FOCUS.